

白杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名 文化・文化財課
-----------	---------------

コード	V-15-33	施策名	歴史・文化遺産の保存・活用・継承
まちづくりの 目標	磨き輝き続ける市民がつながり、白杵っ子が育つまち(学び)	施策の方針	文化を守り伝える
5年後の めざす姿	「国宝・特別史跡白杵磨崖仏」や「国史跡下藤キリシタン墓地」などの文化財と、これらが伝える白杵の歴史や文化・風土を、住みよいまちづくりの実現や観光や産業の振興のために有効活用できるよう、保存と継承を行います。そのために観光協会が取り組む「仏教遺産」と「キリシタン文化遺産」をつなげる『祈りの回廊』事業とタイアップし、情報発信・観光振興の支援、白杵の将来を担う子どもたちが、白杵の文化や歴史と出会い・ふれ合える学習環境の充実に図り、人材育成を行います。		
施策の課題			

< 施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画 >

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	白杵市歴史資料館の年間入館者数	歴史資料館日誌	目標	人	7,100	7,700	8,300	8,000	9,500
			実績	4,118	3,075	5,617	6,614	4,637	
			達成率	%	43.3%	72.9%	79.7%	58.0%	
	「歴史の守り人」の育成	「歴史の守り人」認定名簿人数	目標	人	5	10	15	20	25
			実績	0	0	0	0		
			達成率	%	0%	0%	0%		
	文化財公開点数	文化財の歴史資料館や文化財管理センターにおける文化財の公開件数(単年度毎)	目標	件	450	450	450	450	450
			実績	309	479	858	506	756	
			達成率	%	106.4%	190.7%	112.4%	168.0%	
	白杵っこガイド・学芸員数	年度毎の各認定者数の合計	目標	人	20	20	20	20	20
			実績	11	21	15	6	13	
			達成率	%	105.0%	75.0%	30.0%	65.0%	
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	歴史資料館での資料公開点数はスタッフの努力により増加し、市民共有の財産としての活用がはかられている。一方で「こどもガイド」や「歴史の守り人」など、文化財の保護への参加者がまだ少ないことについて、今後の周知や興味・関心を示してもらうための工夫が必要です。						
		指標達成に向け 今後の流れ	文化財の魅力伝えるための広報活動だけでなく、特に歴史資料館を郷土史学習スタートの場所と位置づけ、白杵の流れの学習だけでなく、文化財を守るための努力の事、自分たちでもできる文化財の保護についても伝え、意識の向上をはかる場所とするなどの取り組みを行います。						

< 市民意識調査結果 R6実施結果 >

領域名	必要度	満足度	浸透度
見直し領域	2.51	2.14	
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域			82.23%
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度 見直し領域	令和4年度 見直し領域	令和5年度 見直し領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート 作成の有無	課長評価			重点 事項
			R4年度 実績	R5年度 実績		進捗状況	今後の 方針	施策への 貢献度	
1	臼杵磨崖仏劣化監視委託事業	文化・文化財課	7,513	7,777	有	順調	強化	大	
2	国史跡下藤キリシタン墓地保存活用計画策定事業	文化・文化財課	-	-					
3	国宝・特別史跡臼杵磨崖仏保存活用計画策定事業	文化・文化財課	2,157	3,266	有	順調	強化	大	
4	臼杵城跡保存整備事業	文化・文化財課	14,194	6,987	無	やや遅延	強化	大	
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計			23,864	18,030	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

臼杵城跡保存整備事業については、現在、国指定史跡認定に向けて取り組んでいるが、認定後、保存活用計画を策定するが、その中で鎧坂の修復工事を明記し、実施する必要がある。下藤キリシタン墓地の保存活用計画策定については、市としてどのように整備するか、検討し、早い内に委員会開催が必要である。臼杵磨崖仏の保存活用計画策定については令和5年度で終了しているので、今後は基本計画の作成を行う必要がある。

施策の評価（今後の施策の方向性）

- 評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する ○ 強化… 現状より強化を図る  
○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る ○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	本課の重要な事業であるので、引き続き強化事業として実施する必要がある。臼杵磨崖仏、臼杵城跡、下藤キリシタン墓地等の各種計画策定が今後、必要となるので、計画的に実施していく。